

紙版 ハコブネ×ブックス vol. 53
<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐwebサイトです。



ソノリティ
はじまりのうた

作 者 佐藤いつ子
出版社 KADOKAWA
発 行 2022年4月
ISBN 978-4041124109



特集

合唱しようぜ！

バンドやろうぜ！なんてポジティブなノリで、合唱しようぜ！とはいかないようです。クラス対抗の合唱コンクールでも、有志参加のクラブ活動でも、とかく合唱団はまとまることが難しく、混沌の坩堝で翻弄されるものです。人数が多い分、各人の情熱には温度差があり、自由に楽しく唄うことだけが正しいとされません。練習しない男子に腹を立てる女子という対立の構図もよく見かけますが、不和からの協調のプロセスが見どころです。『くちびるに歌を』はこうした合唱物語の完成形ですが、ユニーカな発想に彩られた近年の合唱の物語に響き、豊かな音色にも耳を傾けてください。



くちびるに歌を
中田永一
小学館 2011年



夏空に、かんたーた

作 者 和泉智
出版社 ポプラ社
発 行 2017年6月
ISBN 978-4591154786



中三・ラブソディ

作 者 花里真希
出版社 講談社
発 行 2025年9月
ISBN 978-4065409657



中学三年生の女子、季里（きり）はなんでもできる優等生ですが、唯一、**音痴**という欠点がありました。クラス対抗の合唱コンクールでは歌わなくてすむ指揮者になりましたが、唯に、パートリーダーを任せ困惑します。自由曲に選ばれたのは英国のロックバンド、クイーンの名曲『ボヘミアン・ラプソディ』。幼い頃に失踪した父親がいつも聞いていた思い出深い曲です。父親のことを知りたくなった季里がクイーンのことをネットで調べていると、ボーカルのフレディ・マーキュリーがイメージナリーフレンドとして目の前に現れます。フレディと一緒に発声練習をしながら、次第に父親のことを思い出した季里は、隠されていた真実を知ります。いつも本心を隠して周囲に合わせてきた季里は自分と向き合い、思ふまま気持ちを爆発させ、多忙で多感な中三ライフを送つていきます。



若松一中グリークラブ
気になさる方の子はトップギター!!

作 者 神戸遙真
出版社 岩崎書店
発 行 2025年1月
ISBN 978-4265810557



私立中学に入学したばかりの男子、陽翔（ハルト）は、同じ新入生で別のクラスの、スカートの制服がよく似合う可愛らしい歩美（アユミ）と知り合います。歩美が合唱部への入部を断られたのは、**女声合唱部には男子である歩美は入れなかつた**だという真相を知り、陽翔は驚きます。歩美は可愛い格好になります。が好きな**女装男子**だつたのです。男声合唱サークルを結成しようとする歩美につきあいながら、陽翔は歩美に好意を抱いている自分に気づきます。個性的なメンバーが集まり、少人数ながら**グリーラブ**と名付けたサークルの活動は充実していきます。地元のフレスコに参加する直前、歩美的**声変わり**が始まり、高い声が出にくくなつた危機をチームワークでどう乗り切るか。仲間たちとハーモニーを生み出す中で、人前で歌うことを恥ずかしいと思つていた陽翔の気持ちもまた、音楽のつびに満たされていきます。

二〇二〇年のコロナ禍の下、ニューヨークに住む日本人少年、一葦(いちい)はアカペラグループの仲間たちとともににZoomで世界中の高校生たちと繋がり、一緒に歌を唄うプロジェクトに挑みます。同期は難しく、ハモニーは整わなくても、声を合わせて唄う歓びがここにあるのです。

特集 合唱しようぜ！



紙版「ハコブネ×ブックス」vol.53

2026年2月1日発行 ●発行人 きむらともお

事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト **ハコブネ×ブックス**（非営利）を運営しています。日本児童文学学者協会第6回児童文学評論新人賞佳作他、諸々を受賞。